

古都を歩く



多重露出撮影で京都、奈良、
神戸、大阪を巡りました

みのすけ



金閣の黄金に、深紅の紅葉を重ね、贅沢の極みを演出。
東山の寒暖も年々甘くなり、紅葉の深紅の精彩は奪われ、金閣との競演は長くは続かない。
閉館時間が迫り未練が残る、この世の極楽浄土は短い。



奈良公園の紅葉は物憂げな旅情を刺激する。
赤い紅葉に囲われた興福寺五重塔は、はるか唐長安の面影。
都会育ちの鹿は喧噪にも驚かず、食べる事で精一杯。



風のたたく音で、思い出に浸る夢見から引き戻された。
思い切って温い寝床から離れると、夏が過ぎた事を痛感。
スリガラスを通し、秋の気配が見え、時の速さにため息が出る。





神戸海岸通りにはエレガントな異国の建物が並ぶ。
旧居留地の石壁から懐かしい、のどかな時代のセンスが見える。
野暮な文化は神戸では育たない。





大阪天王寺界隈には開けっ広げの浪速人情が残っている。

昭和時代にタイムスリップすると、自己中の動物たちが闊歩する。

グローバルな野生の世界ではyesとnoがはっきりして、曖昧表現は通じない。



多重露出撮影に興味のある方はブックログに無料掲載の「コスモスの多重露出撮影」をご覧ください。

多重露出撮影方法のポイントを掲載しています。

p.booklog.jp/book/58336/read

オリジナル画像はPIXTAとphotolibraryで販売しています。

ご覧いただければ幸いです。

クリエイター名は [みのすけ](#) で検索ください。

ご覧いただき有難うございました。

古都を歩く

<http://p.booklog.jp/book/129657>

著者：みのすけ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/minosuke7/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/129657>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：デザインエッグ株式会社